

平成 30 年度（2018 年度）第 4 回庄内地域における新設中学校及び
義務教育学校・（仮称）北校の開校に向けた準備委員会 意見交換概要

開催日時	平成 30 年（2018 年）11 月 27 日（火）19：00～20：30		
開催場所	第十中学校 1 階多目的室	傍聴者数	1 人
出席者	委員	<p>【庄内小学校】林委員、北島委員、富田委員、三間委員</p> <p>【野田小学校】児島委員、民部委員、藤野委員、佐藤委員</p> <p>【島田小学校】瀧田委員、下花委員、小林委員、須賀委員、米田委員 中尾委員、森田委員</p> <p>【第六中学校】亀谷委員、川田委員、根本委員</p> <p>【第十中学校】中北委員、伊原委員、北野委員、島委員、埴口委員、都間委員</p>	
	事務局 その他	<p>吉田事務局長、田中教育監、井角参事、福山次長、眞田学校教育課長 野田主幹（計画担当）、浅田主幹（保健体育担当）、岸田主幹（青少年担当） 濱副主幹、鶴主査、高橋事務職員、大住教育推進コーディネーター</p>	
次第	<p>1. 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）北校の校名について <p>2. 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義務教育学校・（仮称）北校&（仮称）南部コラボセンターの設計に向けたワークショップ」（第 3・4 回）について ・（仮称）北校の標準服の検討について ・平成 32 年度（2020 年度）からの庄内小学校の通学路について <p>3. その他</p>		
配布資料	<p>【資料 1】義務教育学校・（仮称）北校の校名の検討について</p> <p>【資料 2】義務教育学校・（仮称）北校 校名募集結果一覧</p> <p>【資料 3】義務教育学校・（仮称）北校 制服・標準服に関するアンケート（案）</p> <p>【参考】設計ワークショップかわら版 vol. 2～vol. 4</p>		

1. 意見交換

○（仮称）北校の校名について

事務局（資料1・2についての説明）

委員長

- ・まずは、校名を考えるにあたって、こういう視点が必要だとか、こういう考え方をした方がいい、というような方向性を考えていただき、その後、その方向性に基づいて、グループで3つから5つ程度、具体的な校名を挙げていただきたい。グループで自由に意見を出していただき、後ほど発表していただく。

（グループに分かれて意見交換）

委員長

- ・それではA班から順に、どのような意見があったか発表していただきたい。

A班

- ・「〇〇小中学校」「〇〇義務教育学校」「〇〇学園」なら、「〇〇学園」が呼びやすく良いのではないか。
- ・「庄内」という言葉については、地域を世界にアピールするためにつけた方が良いのではないかという意見と、新しく出発するのだから地名にこだわらなくて良いのではないかという意見の両方があった。
- ・「庄内から世界にはばたいてほしい」「幸せになってほしい」「輝いてほしい」という子どもたちの将来への願いを込めて、「幸」「翔」「輝」などの字が良いのではないかという話になり、それらの組み合わせで、具体的には「幸翔」「幸輝」「明幸」という校名を考えた。

B班

- ・新しいイメージとして、「〇〇学園」が望ましいのではないか。
- ・「庄内」「野田」「島田」「第六」「第十」の字の使用は避けた方が良いのではないか。
- ・歴史を考えると「竜門」という言葉を大事にした方が良いのではないかという意見があったが、「竜門」を使用するにあたっては、そのいわれを地域全体に浸透させ、共通理解を図ることが必要ではないか。
- ・「庄内」という言葉を使いたいという意見もあったが、地名と関係ない新しい名前が良いという意見もあった。
- ・具体的には、「庄内竜門」「庄内北」「豊中誠心」などが良いのではないか。また、グループの方が応募した「TSSN」もご紹介させていただく。
- ・人それぞれ考え方が違うが、このように話し合う機会を持つことが大切である。

D班

- ・庄内式土器は、古墳時代と弥生時代をつなぐ土器として歴史学的に非常に意味がある。単なる地

名としてだけではない深い意味があるので、やはり「庄内」という言葉は大事にしたい。

- ・庄内地域の全ての小学校は龍門小学校からはじまっている。「竜門」は「登竜門」からきており、その同義語である「飛躍する」という意味を持つ名前が良いのではないかな。
- ・具体的には、「庄内創志」「庄内創明」「庄内明輝」が良いのではないかな。特に「庄内創志」「庄内創明」は言葉の響きがかしこそうなので良いと思う。しかし「創志」は、高校野球で有名な同名の学校があるので、同じ読み方のできる「創之」という漢字も良いのではないかな。

E 班

- ・校名の方向性を決めるということだったが、みなさんの思いがそれぞれあり、なかなかまとまった意見にはならなかった。
- ・野田小学校も島田小学校も龍門小学校から始まっているので、「竜」の字は残しても良いのではないかな。「竜」の字がとても堅いので、何かやわらかい漢字と組み合わせるとはどうか。
- ・新しい元号を取り入れてはどうかという意見もあった。
- ・具体的には、「希竜」「翔竜」「成竜」「竜輝」などが挙げられた。

委員長

- ・他のグループの意見を受けて何かご意見や感想があればいただきたい。

(意見なし)

委員長

- ・それでは、校名については、今後も事務局で検討を進めていただきたい。

2. 報告

○「義務教育学校・(仮称)北校&(仮称)南部コラボセンターの設計に向けたワークショップ」(第3・4回)について

事務局 (参考資料の説明)

- ・7月から10月にかけて、学校関係者向けと地域関係者向けにそれぞれ4回シリーズの設計ワークショップを開催した。
- ・前回の開校準備委員会でも報告したが、第2回ワークショップでは、「アイデアを形にしていこう！」をテーマに、施設の配置案を4案提示し、その中であいさつロードを東側に約50m移設し、グラウンドと校舎を一体的に整備できるC案を高評価するご意見を多くいただいた。
- ・第3回ワークショップでは、「形にしたらこんな感じかなあ〜」をテーマに、2回目のC案をベースとした配置案を3案提示し、その中で、普通教室のほとんどが南向きとなっている案を高評価するご意見を多くいただいた。
- ・第4回ワークショップでは、「やったあ〜形ができたよ〜！」をテーマに、より具体的に、普通教室や特別教室の配置、下足室などの子どもの動線などについてご意見をいただいた。
- ・現在は、ワークショップでのご意見や各種法令、コスト面などに関する検討を行っているところであり、今年度末頃に基本設計が完了する予定となっている。

○（仮称）北校の標準服の検討について

委員（標準服検討委員会座長）（資料3についての説明）

- ・庄内・野田・島田小学校、第六・第十中学校の全保護者に対して標準服に関するアンケートを12月中に実施する。次回の開校準備委員会でその結果を報告できるよう、作業を進めていきたい。

○平成32年度（2020年度）からの庄内小学校の通学路について

委員（庄内小学校長）（資料なし）

- ・庄内小学校の子どもたちが安全・安心に野田小学校まで通えるように、通学路についての検討を進めてまいりたい。検討の仕方については、庄内小学校と野田小学校の現在の通学路のつなぎ目となる道について確認していくというのが基本的な考え方である。庄内小学校のPTAと地域の方々と点検作業を行うが、将来的には、野田小学校区の子どもたちがその道を通して（仮称）北校まで通うことになると思うので、今後、開校準備委員会でもご意見をいただきたいと考えている。

委員長

- ・以上の報告について、何かご質問等があればいただきたい。

（質問なし）

3. その他

委員長

- ・次回以降の予定や連絡など事務局から説明いただきたい。

事務局

- ・第5回開校準備委員会は、1月または2月を予定している。日程が決まり次第、ご連絡させていただく。
- ・また、（仮称）北校の給食については、1～6年生はセンター方式、7～9年生は選択制ではなく、全員喫食のデリバリー方式という方針に決まったので、ご報告させていただく。

（以上）